

死因調査に関しまして

九州大学病院 相談支援員総括 川上 義仁

全国油症治療研究班 班長 古江 増隆

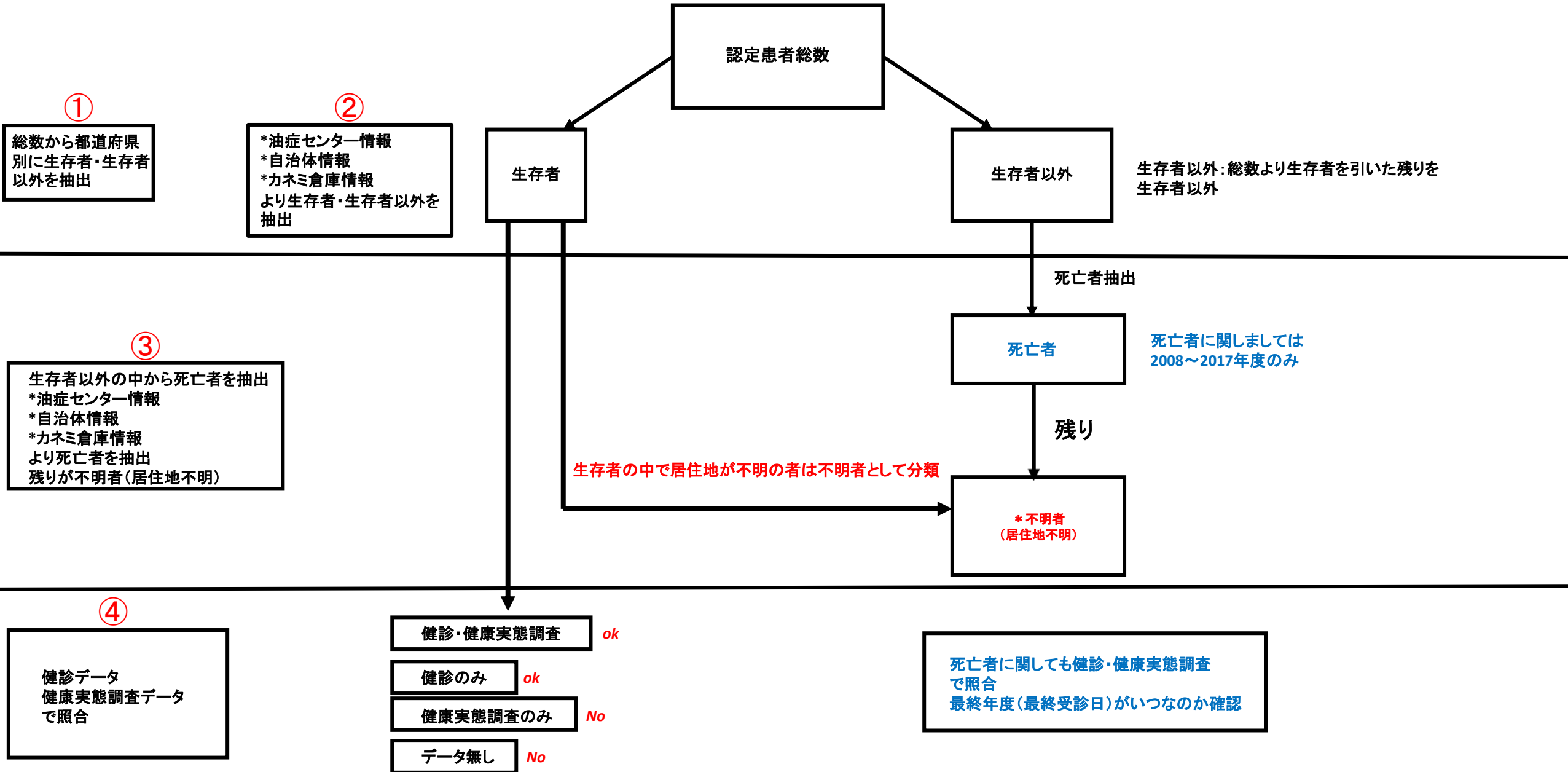
九州大学病院 油症ダイオキシン研究診療センター 三苫 千景

九州大学病院 油症ダイオキシン研究診療センター 梶嶋 啓子

背景

- 油症発生から50年が経過し患者の高齢化
- 今後死亡情報の増加が予想されるので定期的に情報の更新
- 油症コホートの最後の評価から10年が経過

死因調査情報統合の流れ



死因調査の必要項目

- 生年月日
- 死亡年月日
- 死亡届を提出した市町村名

認定患者情報について

- 油症相談員及び相談支援員が配置されている自治体の情報
- 九州大学病院 油症ダイオキシン研究診療センターの情報
- カネミ倉庫の情報

* 現在実施している死因調査は相談員及び相談支援員が配置されている都道府県

* 上記認定患者(生存者及び死亡者)

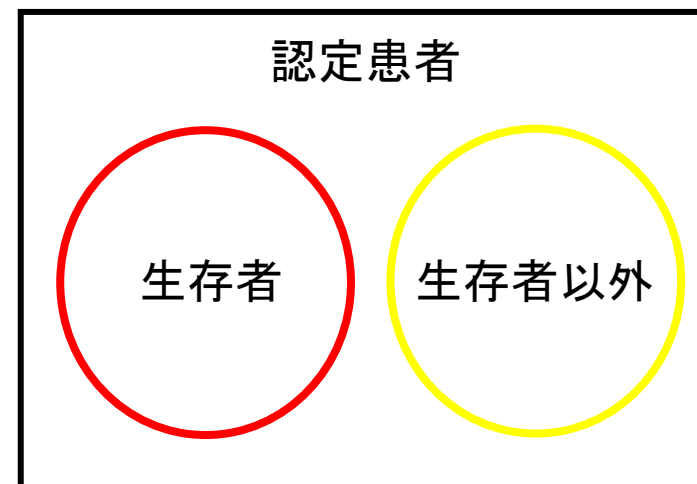
* 死亡者については2008年～2017年のみ調査対象

生存者情報の統合

1. 都道府県別に認定患者の総数を算出
2. 総数から生存者を抽出

抽出方法

- * 自治体・油症センター・カネミ倉庫の各情報より生存者を抽出
- * 2017年度の油症健診及び健康実態調査で照合

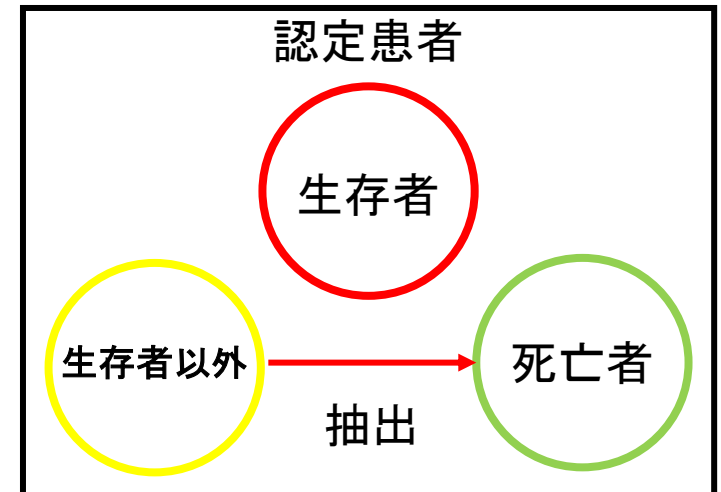


死亡者情報の統合

- 1.総数から生存者を抽出した残りを生存者以外として分類
- 2.生存者以外から死亡者を抽出

抽出方法

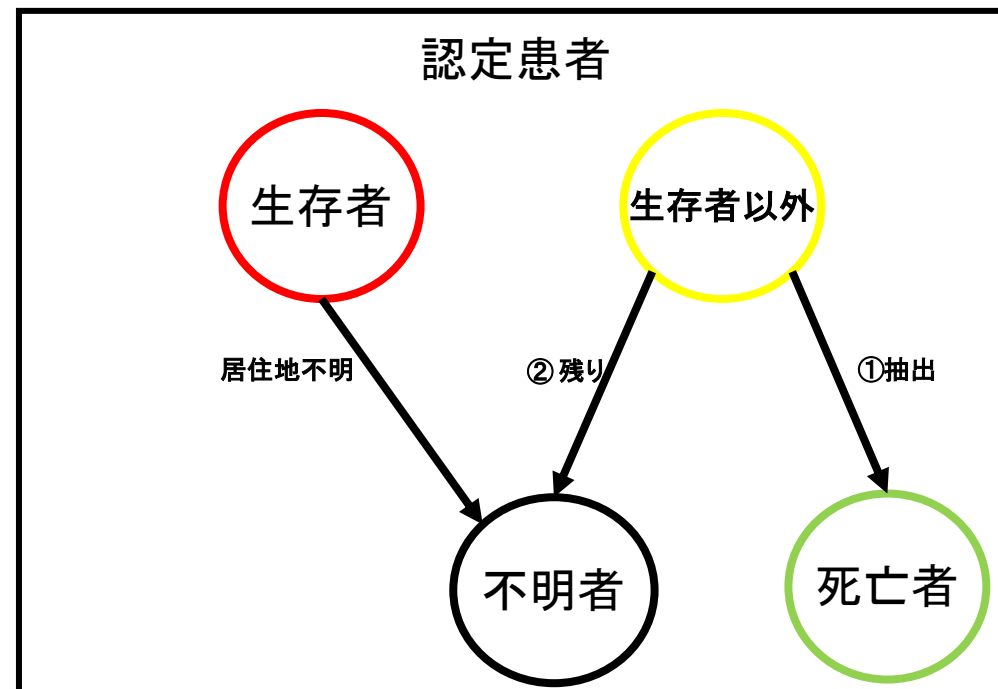
- * 自治体・油症センター・カネミ倉庫の各情報より死亡者を抽出
- * 最終年度(最終受診日)の油症健診及び健康実態調査で照合



不明者情報の統合

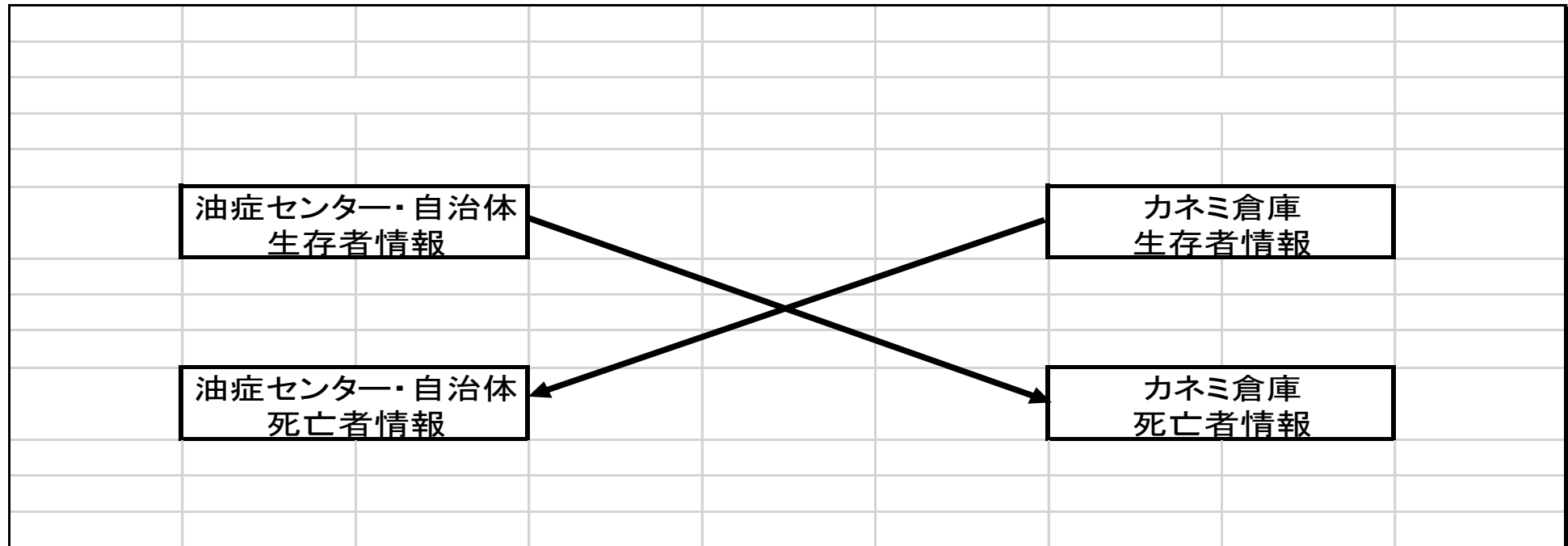
- * 生存者以外から死亡者を抽出した残りを不明者として分類
- * 生存者でも居住地が不明な方については不明者として分類

* 不明者: 居住地が不明な方



クロスチェック

油症センター・自治体・カネミ倉庫の各情報の正確性を確認する為
互いの生存者情報と死亡者情報を掛け合わせ相違がないか確認



進捗状況

	生存者	死亡者	不明者
①情報の統合(油症センター・自治体・カネミ倉庫)	進行中	進行中	進行中
②クロスチェック業務	進行中	進行中	進行中
③判定業務(油症健診・健康実態調査)	-	-	-
④個人情報開示請求文書の作成	-	-	-



自治体から各市区町村に個人情報開示請求業務開始



個人情報の入手

情報統合の問題点

* 死因調査で必要な項目(生年月日・死亡年月日・死亡届を提出した市町村名)が抜けている方が多数存在することを確認

* 各データが一致しない方も確認

* 現時点で個人情報開示請求対象者は多数

個人情報開示請求について(生存者)

	2017年度油症健診	2017年度健康実態調査
A 個人情報開示請求対象外	○	○
a 個人情報開示請求対象外	○	×
B 個人情報開示請求対象者	×	○
b 個人情報開示請求対象者	×	×

個人情報開示請求について(死亡者)

* 生年月日・死亡年月日・死亡届を提出した市町村名が不明な方で生前の居住地の確認がとれている方

* 対象者は2008年～2017年までの方を対象

今後の死因調査

1. クロスチェックの完成
2. 生存者・死亡者・不明者の各情報統合の確認
3. 油症健診及び健康実態調査を元に照合
4. 個人情報開示請求手続き